

A 基本的な能力 良質な審美歯科医療を提供するために、臨床で求められる基本的な態度・技能・知識を修得する。

| 項目 | 一般目標 | 行動・学習目標 | 中項目 | 小項目 | 到達度 | | |
|-----------------------|-------------------------------------|--|-----|---|----------|-----------|-----------|
| | | | | | 歯科 医師 | 歯科 衛生士 | 歯科 技工士 |
| 1 形態 | 良質な審美歯科治療を行うために、顎顔面領域の各種形態について理解する。 | 1) 歯 ① 正常な形態を説明する。 ② 形態異常の種類および病態を評価する。 | | 矮小歯 癒合歯 円錐歯 う蝕 ハッチンソン歯 | ○ | ○ | ○ |
| | | 2) 歯肉・小帯 ① 正常な形態を説明する。 ② 形態異常の種類および病態を評価する。 | | 歯肉退縮 歯肉増殖症 | ○ | ○ | ○ |
| | | 3) 歯列 ① 正常な形態を説明する。 ② 形態異常の種類および特徴を説明する。 | 歯性 | 歯の先天性欠如 叢生 歯間離開 正中離開 歯性、骨格性 | ○ | ○ | ○ |
| | | | 骨格性 | 鞍状・V字型歯列 | | | |
| | | 4) 上下顎 ① 正常な形態と位置関係を説明する。 ② 形態および位置異常を評価する。 | | 顎口蓋裂 上顎前突 下顎前突 交叉咬合 過蓋咬合 低位咬合 開咬 正中線の不一致 | ○ | ○ | ○ |
| 5) 顔貌 理想的な顔貌を説明する。 | | 唇裂 口唇 スマイルライン リップラインと リップサポート 正貌と側貌のバランス 顔面非対称 下顎骨劣成長 満月様顔貌 顔面神経麻痺 エステティックライン ガミースマイル | ○ | ○ | ○ | | |

A 基本的な能力 良質な審美歯科医療を提供するために、臨床で求められる基本的な態度・技能・知識を修得する。

| 項目 | 一般目標 | 行動・学習目標 | 中項目 | 小項目 | 到達度 | | |
|------|--------------------------------------|--|--------------------|--|----------|-----------|-----------|
| | | | | | 歯科 医師 | 歯科 衛生士 | 歯科 技工士 |
| 2 色調 | 良質な審美歯科治療を行うために、顎顔面領域に調和した色について理解する。 | 1) 歯 ① 標準的な色調を説明する。 ② 色調異常の原因と病態を評価する。 | 内因性色調異常 外因性色調異常 | | ○ | ○ | ○ |
| | | 2) 歯肉 ① 標準的な色調を説明する。 ② 色調の変化および病態を評価する。 | | メタルタトゥー レッドバンド ブラックマージン メラニン色素沈着 ブラクトリアングル | ○ | ○ | ○ |
| | | 3) 頬粘膜 ① 標準的な色調を説明する。 ② 病的な色調および病態を評価する。 | 口腔粘膜疾患 | 白板症 カンジダ症 扁平苔癬 | ○ | ○ | ○ |
| | | 4) 舌 ① 標準的な色調を説明する。 ② 病的な色調および病態を評価する。 | | 地図状舌 溝状舌 平滑舌 舌苔 | ○ | ○ | ○ |
| | | 5) 口唇 ① 標準的な色調を説明する。 ② 病的な色調および病態を評価する。 | | 口角炎(ピラン) | ○ | ○ | ○ |
| | | 6) 顔面 ① 標準的な色調を説明する。 ② 病的な色調および病態を評価する。 | | しみ 色素性母斑 くすみ 紫斑 | ○ | ○ | ○ |

A 基本的な能力 良質な審美歯科医療を提供するために、臨床で求められる基本的な態度・技能・知識を修得する。

| 項目 | 一般目標 | 行動・学習目標 | 中項目 | 小項目 | 到達度 | | | |
|------|----------------------------------|--|---|---|----------|-----------|-----------|---|
| | | | | | 歯科 医師 | 歯科 衛生士 | 歯科 技工士 | |
| 3 機能 | 良質な審美歯科治療を行うために、顎口腔系の機能について理解する。 | 1) 咬合 ① 正常な機能を説明する。 ② 機能異常の種類および病態を評価する。 | 生理的咬合 | 咬頭嵌合位 偏心咬合位 犬歯誘導咬合 グループファンクション咬合 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 病的咬合 | 早期接触 咬頭干渉 (作業側・非作業側) 無接触 | | | | |
| | | 2) 咀嚼 ① 正常な咀嚼運動を説明する。 ② 異常な咀嚼運動を評価する。 | 咀嚼障害 開口障害 | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | 3) 嚥下 ① 正常な嚥下機能を説明する。 ② 異常な嚥下機能を評価する。 | | | | ○ | ○ |
| | | 4) 構音 ① 正常な構音を説明する。 ② 構音障害を評価する。 | オーラル ディアドコネシス 鼻咽腔閉鎖不全 | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | 5) 表情 表情に影響する項目を説明する。 | 微笑 | | ○ | ○ | ○ |
| 器質的 | 顔面神経麻痺 | | | | | | | |
| 心因性 | | | | | | | | |

A 基本的な能力 良質な審美歯科医療を提供するために、臨床で求められる基本的な態度・技能・知識を修得する。

| 項目 | 一般目標 | 行動・学習目標 | 中項目 | 小項目 | 到達度 | | |
|------|----------------------------------|--|-------|-----------------------------------|----------|-----------|-----------|
| | | | | | 歯科 医師 | 歯科 衛生士 | 歯科 技工士 |
| 4 加齢 | 良質な審美歯科治療を行うために、加齢に伴う変化について理解する。 | 1) 歯 歯の形態と色調の変化について説明する。 | | 咬耗 微小亀裂 | ○ | ○ | ○ |
| | | 2) 歯肉 歯頸線の変化と歯肉の退縮について説明する。 | | | ○ | ○ | ○ |
| | | 3) 頬粘膜・口唇・舌 頬・口唇の緊張の喪失、滑舌の低下について説明する。 | | | ○ | ○ | ○ |
| | | 4) 皮膚 皮膚の弾力性や色調の変化について説明する。 | | 皺 鼻唇溝の消失 (法令線) マリオネットライン | ○ | ○ | ○ |
| | | 5) 心身 加齢による機能の低下と心理的变化について説明する。 | 全身の健康 | | ○ | ○ | ○ |